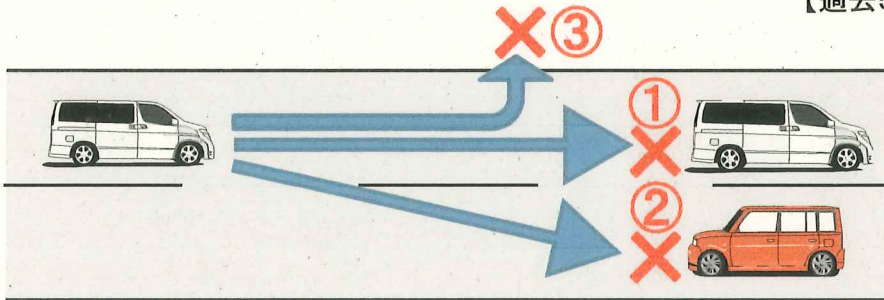


スリップ事故防止の注意点

冬期間典型的なスリップ事故 WORST3

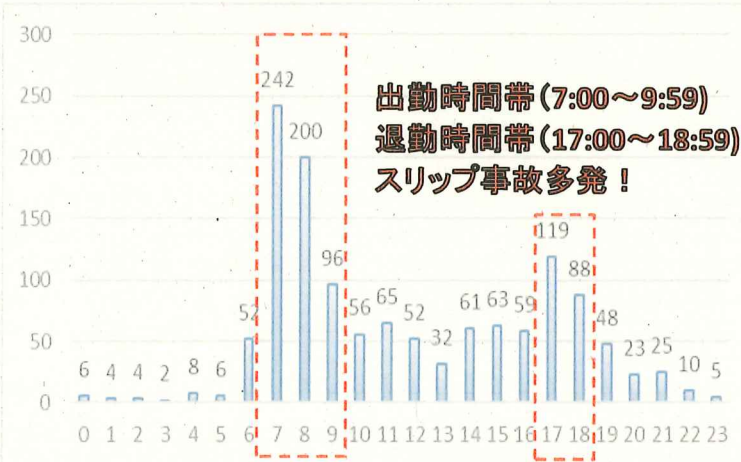
【過去5年間(H30~R4)の県内事故統計より】



- WORST① 追突 60.9%**
 - WORST② 正面衝突 12.2%**
 - WORST③ 自損事故 6.5%**
- ※ 全体の約8割を占める

【 注 意 点 】

スリップ事故(時間帯別) 【過去5年間(H30~R4)の県内事故統計より】



★ **時間と気持ちに余裕を持った運転を**
悪天候による路面状況の悪化により、平常時よりも時間がかかります。
早めの行動で、余裕を持った運転に努めましょう。

★ **路面凍結に注意**
深夜、早朝は、外気温の低下により、路面が凍結しやすく、中でも
橋、トンネル、日陰など
は、部分凍結しやすいため、十分減速して走行しましょう。

★ **ハイビームの有効活用を**
秋以降は、日没が早まり、歩行者が見えにくくなり、人対車両の事故が多発します。
午後4時からの早めライト点灯
さらに、前車や対向車がいなくときには
ハイビームの積極的な活用
し、事故防止に努めてください。

★ **冬道対策は事前の準備が大切**
タイヤやスノーブレード、小まめな給油など、冬道対策は事前の準備が大切です。

★ **運転は路面状況にあった速度で**
凍結路面では、スタッドレスタイヤでも止まらない。スタッドレスタイヤへの過信は禁物。

★ **車間距離は長めにとって運転を**
走行速度の倍の距離をとることで、追突事故の大半は防ぐことができます。



時速40kmでの制動距離

※JAF(日本自動車連盟)データより

